ＮＰＯ法人つるがしま里山サポートクラブ

設立年月日：平成 15 年 4 月 1 日　　代表者名：小澤　邦彦
郵便番号：350-2201
住所 / 所在地：埼玉県鶴ヶ島市富士見 4 丁目 15-2-103 たまみハイツ A
電話番号：049-298-3989

里山の恵みに感謝して一緒に汗をながしましょう。

MESSAGE

【メッセージ】鶴ヶ島には、市民が自由に出入りし、散策できる市民の森が 7 箇所あります。市役所や市民団体が整備し維持管理していますが、訪れる市民はまばらで、存在自体が知られていない状態です。市民の森を憩いの場、学びの場として積極的に活用することで、里山環境が未来に受け継がれて行くと考えます。整備活動やイベントに参加していただき、里山環境の有用性を共有していただけることを願います。

【市民（地域）サービス】樹林地と河川を有する里山環境は、放置自然林にならないよう、人の手で整備維持されていることで、生物多用性に富み、生態系サービスが豊かになります。鶴ヶ島では小規模樹林地が点在しているだけのため、そう多大なサービスは望めませんが、憩いの場としての文化的サービス、きのこや竹・木材といった供給サービス、樹林地と河川による調整サービスが期待できます。

【参加形態 / 参加方法】

参加対象者　：会員及び一般
会費（月額）　：正会員￥2000/ Y
　　賛助会員￥1000/ Y
活動場所　：鶴ヶ島市及び近隣市町村
※被災地からの要請により復興支援遠征もあります。
主な活動曜日　：木曜日、土曜日、日曜日
主な活動時間　：9：00 ～ 15：00

INFO

【インフォメーション】（平成 25 年の活動），市民の森（高倉、藤金、五味ケ谷）整備、市民の森河川魚類調査、市民の森外来植物駆除、ホタル鑑賞会、藤金市民の森プレーパーックまつり開催、五味ケ谷市民の森キャンドルナイト開催、竹を使った催し（流しソーメン、水鉄砲、竹馬、門松）、南相馬復興支援

SOCIAL THEME

【活動テーマ / 地域課題】地域の人々が豊な生態系サービスを享受できることを願い里山環境の保全をおこなう。

【事業概要 / 活動概要】2002 年に鶴ヶ島市役所が市民の森整備ボランティアを募集し、集まった市民と企業市民は、市役所職員の指導により、４号高徳神社の森整備に携わりました。ここに応募したメンバーが、翌年４月「つるがしま里山サポートクラブ」の名称で市民団体として独立しました。その後高倉市民の森新設に協力し、五味ケ市民の森維持管理団体として協定を結び、藤金市民の森でも管理協定を結んでいます。そのほか民有地の整備依頼を引き受け、樹林地の整備保全と河川の清掃作業に取り組んできました。こうして地域にわずかに残された里山環境の維持保全活動を続けてきましたが、ただそこにあるだけの里山環境では、未来に継承できないのではないかとの懸念がありました。里山は、そこに暮らす住民が利用し、利用形態にしたがって様々な生態系を持つ環境です。そこに住む人々の暮らしに恩恵がなければ、里山の存在意義はなくなります。そこで、数年前から里山の恵み（生態系サービス）を、直接伝える活動を始めています。藤金市民の森では、子どもが自由に遊べるプレーパークまつりを開催しました。ターザンロープや穴掘り、魚捕りと市民の森を思い切り楽しんでもらいました。また、大径木を使ったツリークライミング体験では、子どもから大人まで、冒険心をくすぐられ樹の上から地上を見下ろす体験に夢中となりました。

五味ケ谷市民の森では、竹林の竹を使った催しを続けています。毎年夏至の夜、散策路に並べた竹の蜀台にロウソクを灯し、幽玄的な市民の森を演出しています。竹を伐りだし水鉄砲、竹馬、ソーメン流しの樋、門松などを作り、参加者に喜ばれています。また、大きく育った孟宗竹は、震災復興支援材として牡蠣筏用に伐り出し、気仙沼に送っています。その際発生した枝葉は、東松山こども動物園のレッサーパンダの餌として引き取られています。それでも残った竹の残材はウッドチッパーで竹チップにします。この竹チップは、市内有機野菜農家で肥料となり、美味しい野菜が作られています。このように里山環境の整備と積極的利用を進めているのが私達の団体です。

プレーパークまつりイベント

市民の森整備作業

CONTACT

HP　http://www.geocities.jp/satoyamasaport/
mail　satoyamasaport@yahoo.co.jp
TownTip　http://towntip.jp/tsurugashima/sns/cr.php?bbs_id=606